

宮崎市民長寿支援プラン（案）（第10次高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画）に関する意見募集の結果及び市の考え方について

宮崎市民長寿支援プラン（案）（第10次高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画）に関する意見募集を実施したところ、貴重なご意見をいただきありがとうございました。お寄せいただいたご意見の趣旨とそれに対する市の考え方を掲載します。

なお、計画の内容につきましては、素案どおりとすることといたしますが、最終案につきましては、一部、内容の追加や修正等を行う予定です。

ご協力ありがとうございました。

1. 募集期間 令和6年1月22日（月）～令和6年2月16日（金）

2. 意見数 1

3. 意見募集の結果及び市の考え方

No.	回答課	ご意見の趣旨	ご意見に対する市の考え方
1	地域包括ケア推進課	認知症施策について、「本人を起点に」との視点が弱いのではないか。「当事者同士の活動の支援」、「当事者グループ立ち上げの支援」をビジョンとして掲げる必要がある。	認知症施策につきましては、認知症の人が希望を持って暮らせる社会基盤をつくるため、認知症の人も含めた国民全体で共生社会の実現を推進することと認知症基本法で示されております。いただいた意見を参考に、認知症地域支援推進員や認知症カフェ等推進事業において、それぞれが企画開催している介護教室や認知症カフェの場で、市職員が本人から「自分の体験」「自分なりの工夫、生き方」「自分の希望」といった話を聞くなど、直接認知症の人の声を聞く機会を設けたいと考えております。そこで得られた本人の意向や認知症の人本人の視点を認知症施策の企画・立案・評価に反映して参りたいと考えております。 また、それにより本人発信や本人が参画する視点で企画・立案された施策について、認知症地域支援推進員が核となって、認知症の人やその家族の支援に携わる様々な職種の専門職（認知症の診断や治療に関わる医療機関や生活の支援に関わる介護関係者等）との連携を通して「当事者同士の活動支援」「当事者グループ立ち上げの支援」といった認知症支援体制の構築を推進します。